

公共事業事前評価調査(平成29年度予算要望)

所管課: 海岸防災課

担当班: 災害砂防班

事業名	島袋地区急傾斜地崩壊対策事業		事業区分	急傾斜地崩壊対策事業	事業主体	沖縄県
事業箇所	北中城村島袋地内					
事業の諸元	急傾斜地崩壊危険区域 A≒0.5ha 補強筋法面工、吹付砕工、かご砕工、排水工、仮設工 各一式					
事業の概要	<p>当該地区は、中頭郡北中城村字島袋地内に位置する東向き斜面で、がけ高約13m、勾配約34度の急傾斜地である。保全対象は、がけ上と下の人家14戸(要配慮者利用施設含む)である。</p> <p>平成26年2月の大雨により一部斜面の崩壊が発生し、がけ下の住宅に樹木等がのしかかる等の被害が生じた。斜面の風化・浸食が顕著になってきているものと考えられ、今後も変状が進行する恐れがあることから、急傾斜地崩壊対策事業を実施するものである。</p>					
事業の必要性・効果等	<p>< 必要性 > 当該地区は、平成26年2月の大雨により一部斜面の崩壊が発生し、がけ下の住宅に樹木等がのしかかる等の被害等、斜面崩壊の兆候が確認されており、事業の実施により、周辺住民の生命・財産を保護が図られる。</p> <p>< 効果等 > 人家14戸(要配慮者利用施設1施設)の住民の生命・財産を守ることができる。</p>					
事業期間	事業採択	平成 29年度		完了(予定)	平成 31年度	
全体事業費	1.0	(億円)	補助・単独の別	補助	補助率	1 / 2
費用対効果	B / C	総便益: B	6.1 (億円)	総費用: C	0.9 (億円)	基準年
	= 6.5	被害軽減便益 6.1億円		事業費 0.9億円		平成 28年度
事業着手の熟度・上位計画との整合性	<p>沖縄21世紀ビジョン基本計画において、「2心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して」の中で「(4)社会リスクセーフティネットの確立」として、土砂災害の防災対策への取り組みが位置づけられている。</p> <p>沖縄21世紀ビジョン実施計画において、「災害に強い県土づくりと防災体制の強化」として「土砂災害対策 急傾斜地崩壊対策事業」が位置づけられている。</p>					
環境への配慮	コンクリート法枠内に植生を行うなど、緑化工法を採用する予定。					
関係する地方公共団体等の意見	平成26年2月に島袋自治会長から北中城村長に斜面对策に対する要望が提出されており、その後、北中城村から県への要望もある。					
概要図(位置図)						